記者発表資料

令和３年１２月１日
青森河川国道事務所

一般国道２７９号「小赤川橋（こあかがわばし）」の早期復旧に向けて

～　第１回 小赤川橋復旧方法検討委員会を開催します　～

■　令和３年８月９日からの大雨により被災した青森県むつ市の一般国道２７９号小赤川橋については、青森県から早期の復旧が必要である旨の要請を受けて、国の権限代行事業により本復旧工事の検討を進めているところです。
■　復旧にあたっては、小赤川橋の落橋原因を解明したうえでの橋梁復旧計画策定が必要となり、高度な技術的判断が求められます。
■　本橋梁の早期復旧に向け、復旧方法等について検討するため、第１回検討委員会を下記のとおり開催します。

記

１．日　時　：　令和３年１２月３日（金）　14:00～16:00

２．場　所　：　八戸工業大学　メディアセンター２階　（青森県八戸市大字妙字大開８８－１）

３．議　事　：　・落橋原因（被災メカニズム）の検証
・架橋地点における地質調査結果
・橋梁の復旧計画

４．資　料　：　別紙１：委員名簿
別紙２：取材申込書
別紙３：会場案内図
別紙４：小赤川橋（直轄権限代行）位置図

５．その他　：　・会議は非公開としますが、報道関係者のみ冒頭挨拶まで傍聴・撮影が可能です。
・会場ではマスク着用のうえ新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力下さい。
・会場の都合により一般の方の傍聴はできません。

＜　記者発表先：青森県政記者会　むつ市政記者会　建設関係専門紙　津軽新報社　＞

【問い合わせ先】
国土交通省 東北地方整備局　青森河川国道事務所　副所長（道路）　小笠原（おがさわら）　清（きよし）
調査第二課長　葛西（かさい）　弘樹（ひろき）
代表：017-734-4521　調査第二課直通：017-734-4570　FAX：017-722-2384

別 紙 1

一般国道２７９号　小赤川橋復旧方法検討委員会

委　員　名　簿

（敬称略）

長谷川（はせがわ）	明（あきら）	八戸工業大学　名誉教授
阿波（あば）	稔（みのる）	八戸工業大学　工学部　教授
竹内（たけうち）	貴弘（たかひろ）	八戸工業大学　工学部　教授
鄒（ツォ）	青穎（チンイン）	弘前大学　農学生命科学部　助教
小笠原（おがさわら）	清（きよし）	国土交通省　青森河川国道事務所　副所長
米田（まいた）	均（ひとし）	青森県　県土整備部　道路課長
阿部（あべ）	伸樹（のぶき）	青森県　県土整備部　河川砂防課長
小笠原（おがさわら）	洋一（よういち）	むつ市　建設技術部長

別紙2

令和3年　月　日

青森河川国道事務所　調査第二課　葛西　あて
（E-mail:kasai-h82ac@mlit.go.jp ）
（FAX:017-722-2384）

「一般国道２７９号小赤川橋復旧方法検討委員会」　取材申込書

1．報道機関名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2．取材者等

（1）ご氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（2）連絡先　TEL＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（3）取材人数　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

ご多忙のところ大変恐縮ですが、令和3年12月2日（木）までに下記担当へご提出下さいますようお願いいたします。

【担当】国土交通省　東北地方整備局
青森河川国道事務所　調査第二課　葛西弘樹
TEL ： 017-734-4570（直通）

別紙３

会場：八戸工業大学　メディアセンター２階

（青森県八戸市大字妙字大開８８－１）





Ⓐ 本館(受付・図書館・保健室) Ⓑ 本館(学修支援室・カウンセリングルーム・新聞閲覧室) Ⓒ 教養棟・学生ホール・学生食堂
Ⓓ 教養棟旧館・学生食堂 Ⓔ 機械工学専門棟 Ⓕ 電気電子工学専門棟 Ⓖ 創生デザイン専門棟
Ⓗ システム情報工学専門棟 Ⓘ 土木建築工学専門棟・土木工学専門棟 Ⓙ 土木建築工学専門棟・建築工学専門棟
Ⓚ 生命環境科学専門棟 Ⓛ 自動車工学センター Ⓜ 工作技術センター Ⓝ 体育館・トレーニングルーム
Ⓞ メディアセンター Ⓟ 尚志館 Ⓠ 学友会館1号館 Ⓡ 学友会館2号館 Ⓢ 学友会館3号館 Ⓣ 合宿所
Ⓤ 地域産業総合研究所・構造工学実験棟

出典：八戸工業大学ホームページより

別紙４

小赤川橋災害復旧（直轄権限代行）位置図



＜小赤川橋の仮橋経緯＞
- 落　　橋：令和3年8月10日（通行止め）
- 仮橋設置：令和3年8月17日
- 交通開放：令和3年8月17日（緊急車両通行可）
  令和3年9月2日（一般車両通行可）







